

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	○身体拘束をしないケアの実践 玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組むを実施できていない。	玄関の施錠なしを目指します。	まずは、一定時間での解錠を目指す。 その後に、完全解錠を日中目指す。	6ヶ月
2	9	○思いや意向の把握 1人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めているが、困難な場合は、本人本位に検討している。	センター方式の「私の姿と気持ちシート」等を活用や「月間私の日常シート」を作成していく。	まずは、年末に向けての「私の日常シート」を作成し「入居者様だけではなく、家族様へも入居者様の思いを届ける試みを試行しようと考えています。	2ヶ月
3	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより暮らすための課題とケアのアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	上記項目の「私の日常シート」を家族様に送付し家族様が「サービス担当者会議に参加し易い状況を作る。	「私の日常シート」を年末に家族様に送付しその時の総評を「家族様にコメントして頂き、ご本人希望と摺り合わせたものを「スタッフにも把握して貰い意志の伝達の不備のないモニタリング」を目指します。	2ヶ月
4	13	○災害対策 火災や地震、水害等の備蓄用品が補充されていない	まずは、飲料水から備蓄補充していきます カンパン・飲料水・レトルト食品の備蓄	毎月少しずつ備蓄していきます。	2ヶ月
5	15	○食事を楽しむことのできる支援 職員が入居者様と同じ物を食事摂取していない	職員も含めて入居者様と同じ食事を摂取する。	11月5日より、1週間単位でフロア一別に職員も同じ食事を摂取するようにします。	1ヶ月
6	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をする。	全居室が使い慣れたタンスやテレビなどを持参され設置出来るようにする。	運営推進会議やお知らせ文を活用して、まずは家族様の来所機会頻度を上げて頂き、入居者様の現状を直接見て頂き、職員はお手伝い出来る雰囲気作りに務める。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。